

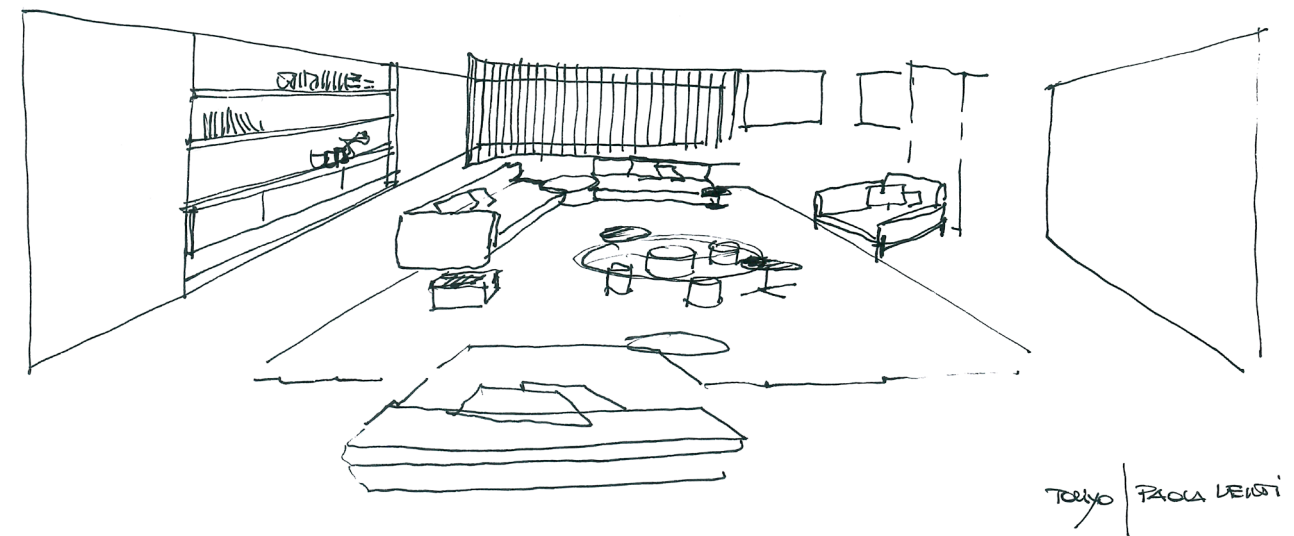


イタリアを代表するファニチャーブランド

インスピレーションにあふれた場所

ラグジュアリーな家具を手がけるブランドは少なくない。けれどもここに紹介するパオラ・レンティは、従来の高級家具とは一線を画す。自然をインスピレーションの源とし、ウェルビーイングを追求しているのだ。東京・麻布台にオープンしたフラッグシップストアは、足を踏み入れるだけで感性が刺激される、ミュージアムのような空間だった。

text=Takeshi Sato



1994年にイタリア・ミラノに創業したパオラ・レンティは、比較的歴史の浅い家具ブランドであるけれど、瞬間に成長を遂げ、いまやミラノ・サローネの常連になっている。本年4月のミラノ・サローネ2024でも、佐藤オオキ氏が率いるデザインオフィスnendoとのコラボレーションで注目を集めた。

パオラ・レンティが支持される理由は、大きく3つ。自然をモチーフにした美しい色と豊富なカラーバリエーション、常に最先端を追求する素材の開発、そして手作業で仕上げるクラフツマンシップだ。

グラフィックデザイナー出身のブランド創設者パオラ・レンティは起業の際に、ヨットに使われる素材を家具に用いるアイデアを思いついたという。同社の家具の高い耐久性、耐候性により、高級リゾ

ートホテルのプールサイドのソファなど、アウトドア・ファニチャーの分野でも第一人者として認められている。

モダンなイタリアを体現するファニチャー・ブランドの日本におけるフラッグシップショップ「Paola Lenti Tokyo」が、2024年2月に東京・麻布台にオープンした。ショールームのウィンドーからは、東京の新しいランドスケープである麻布台ヒルズを正面から望むことができるという立地だ。

インドアとアウトドアの家具がひとつのフロアで展開され、カラフルなアイテムを引き立てるために、壁と床はあえてホワイトとベージュというニュートラルな色合いになっている。

溶岩石とガラスで構築する「Sciara」テーブルのグリーンとターコ

イズの組み合わせなど、“色の魔術師”とも称されるパオラ・レンティの特徴が、つぶさに表現されており、インテリアショップにいるような、ミュージアムにきたような、不思議な気分を味わう。

「クルマ好きは時計好き」とか、「クルマ好きはカメラも好き」と言われるけれど、クルマ好きは間違いなく家具も好きはずだ。というのも、われわれは、シートの掛け心地とか、ウッドの質感やレザーの発色といったものにこだわっているからだ。そして、モノトーンでまとめたシックなインテリアというのは比較的容易に見つかるけれど、

きれいなカラーコーディネートした家具を揃えることは意外と難しい。ご興味を持った方は、一度麻布台の「Paola Lenti Tokyo」を尋ねてみてはいかがだろうか。イタリア車の内外装の鮮やかなカラーリングで気分が上がるように、このブランドの家具も前向きな気持ちにしてくれる。

Paola Lenti Tokyo

東京都港区麻布台3-5-5 ☎03-6712-5354
営業時間:11:00~18:00 定休日:日曜・祝日